



2025年8月27日

各 位

会 社 名 株式会社タカショー  
代表者名 代表取締役社長 高岡 伸夫  
(コード番号：7590、東証スタンダード)  
問合せ先 常務執行役員  
経営管理本部副本部長 井上 淳  
(電話：073-482-4128)

## 2026年1月期通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、2026年1月期第2四半期（中間期）の業績及び最近の事業動向等を踏まえ、本日開催の取締役会において、2025年3月3日に公表いたしました2026年1月期（2025年1月21日～2026年1月20日）通期連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2026年1月期通期連結業績予想数値の修正（2025年1月21日～2026年1月20日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	21,736	308	405	122	7 24
今回修正予想 (B)	21,736	463	470	160	9 49
増 減 額 (B-A)	—	155	65	38	—
増 減 率 (%)	—	50.3	16.0	31.1	—
(ご参考) 前期実績 (C) (2025年1月期)	19,890	△150	83	△242	△14 41
前期末比 (%)	109.3	—	561.0	—	—

#### (修正の理由)

売上高につきましては、売上構成の中核を担うプロユース事業は引き続き堅調に成長を遂げております。公共・商業施設や大手飲食チェーンにおける導入拡大に加え、ショールーム展開やデジタルツールを活用した提案活動により、当社の強みを最大限に発揮し、安定的な需要拡大を実現しました。さらに、100%連結子会社である㈱タカショーデジテックによる屋外照明・イルミネーション関連ビジネスは、エンターテインメント用ドローンの活用など新たな成長領域を取り込み、堅調に拡大を続けております。ホームユース事業および海外事業が市場環境や施策の影響を受け、一時的に伸び悩む局面も見られましたが、下半期にかけて、ホームユース事業での新商品の導入計画や海外事業の新規導入店舗の拡大を見込んでいることから、当初の計画通り推移する見込みです。

利益面においては、急成長を示している㈱タカショーデジテックの外部売上構成比が拡大していることもあ

り粗利率が改善しております。また、販管費においても必要な投資は積極的に進めるものの、費用対効果の低い取組みを見直したことから当初計画を下回る見込みです。その結果、営業利益は463百万円（50.3%増）、経常利益においては為替変動リスクはあるものの470百万円（16.0%増）、当期純利益においては160百万円（31.1%増）と前回発表予想を上回る見通しとなったため、通期業績予想を修正するものであります。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は当社を取り巻く様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上